



Change! 2022 ニュース

No. 17

Change! 2022 推進委員会 2020. 11. 15 発行

▼ 会員増強に思う

「EMCについてインタビューしてみた！」

Change! 2022 推進委員

相磯 優子 (沼津)



Zoom というツールの登場で、会社の会議、研修から、果ては顧客への提案までもオンラインで。ワイズでも。

先日、DBC の京都トップスクラブの例会に Zoom で参加させて頂きました。変わらぬパワフルな例会の様子を

拝見し、閉塞感漂うコロナ禍の EMC 活動について聞いてみたく、また元気も頂ければと、西日本区直前 EMC 事業主任の牧野篤文ワイズ(京都トップス)にインタビューをさせて頂きました。

相磯：沼津クラブでは、CS 等の活動は休止状態で、例会は Zoom 例会です。現在のトップスクラブの活動はいかがですか？

牧野 y: バランスよくやれていると思います。YMCA が活動を制限しているので、Y サービス事業はあまりできていないが、CS 事業は献血やヨガ教室の企画などを行っています。

もちろん細心の注意を払ってです。交流委員会も動いています。

相磯：会員増強への取り組みはいかがですか？

牧野 y: 今年度は 20 名の新入会員の獲得を目標に掲げています。コロナ禍で厳しいですが。

相磯：目標達成に向けて具体的な戦術は？

牧野 y: 以前は EMC 委員長ひとりが、クラブメンバーに向けて呼びかけていたが、EMC 委員会所属の新入会員 8 名が、毎例会に一人ずつ委員会報告で EMC に対する決意表明をしています。

メンバーに向けて発表することで、確実に意識が上がって行っています。

相磯：EMC 事業主任の時に、“西日本区「発展アクションプラン」”のプレゼン(YouTube に動画あります)の中で、発展しているクラブの共通点に“規律ある例会”を挙げていて、例会の運営の重要性を説いていらっしゃいましたが、現状の例会運営はいかがですか？

牧野 y: 例会会場の出席者は 35 名に限定しています。それ以外のメンバーは Zoom で参加してもらっています。若干ですが出席率は悪いです。

それでも毎例会にかならず、ゲスト(入会候補者)を連れて来ています。

相磯：毎例会に必ずは凄いですね！停滞しているクラブの活動のネジを巻いて、新しい活動の在り方を模索していかなければならない時期に、パワーを注入頂きました。ありがとうございました。

◀ 相磯優子さんのプロフィール ▶

1962 年 8 月 31 日 金沢市生まれ
 2004 年 沼津クラブ入会
 2013-2014 年度 会員増強事業主任
 2016-2017 年度 ワイズメネット委員長
 2019 年 第 28 回アジア太平洋地域大会マージャーナル委員長
 2019 年～ Change! 2022 推進委員
 仕事は、生命保険の販売

西日本区 2019-20 EMC 事業主任を務めた牧野篤文ワイズの“西日本区「発展アクションプラン」”動画は、以下でご覧になれます。(下記のアドレスをクリック)

<https://www.youtube.com/watch?v=avZMPyvXF1w&feature=youtu.be>

▼ 各部 会員増強事業主査より

「Change! 2022

仲間をもっと知ろう !!」

あずさ部主査 野々垣 健五 (甲府 21)



甲府 21 ワイズメンズクラブに籍をおく野々垣です。コロナにかまけて「あずさ部」については、ややおろそかです。そこで、自分のいる甲府 21 の実績から本日迄をみていきながら再度、実態と問題点を考えていき、皆様の参考になればと思います。

ます。

【会員数の推移】

	(会員数)	(退会者数)
2015 年	19 名	1 名 (中島氏 召天)
2016 年	21 名	0
2017 年	24 名	0
2018 年	26 名	0
2019 年	32 名	1 名
2020 年 10 月	41 名	

*2020 年 11 月に 2 名入会予定 43 名へ

【きっかけ】

- (1) 甲府 21 の屋台骨を背負っていた中島竹男氏の召天。屋台骨を失うことにより、会員の目覚め。「全て彼にやってもらっていた。」「これでは駄目だ。」「自分も動こう。」という意識の目覚め。
- (2) 16 名で良かったかも？からの脱皮。「親クラブの甲府クラブのメンバー数には追い付こうよ。」という目的意識。
- (3) 更に、16 名での財政では本当にキツイという会計からの提案。
- (4) 甲府市、全国の県庁所在地の市の中での最小人口(187,103 人)。そこから、何か「only one」をやっつけようという意識。

【目的意識の明確化】

キリスト教がバックボーンにあるが、その意識の持ち方は色々。ワイズメンとして「山梨 YMCA を支援して」というお願いと入会の誘い。そして年会費 5 万円～6 万円でのお付き合い感覚の声掛け。

【甲府での利点】

甲府地域は商圏人口約 600 千人。広くない地域。知

人、友人と会うのに近くて便利。然も公共交通機関は不便で自家用車文化。朝の声掛けで昼に 4～5 人が集まるのは容易い。

【一番大事なこと !!】

自分に、入会を誘おうという強烈な意識を持つ。その伝道することの意識が、それぞれに伝わっていくこと意識付け。そして、その上で「仲間をつくろう !!」という意識を持つこと。

『人生、仲間の多いことは学びの多さにつながる !!』

【現状】

2020 年 10 月は 41 名、11 月は 43 名に。本年の EMC 委員長、宮岡宏実女史の意識とそのサポートの強さ。

野々垣の一言: 世界一、メンバー数の多いクラブ、各町の一丁目に一人のワイズメンを !!

【問題点】

- (1) チャーターメンバー、80 才付近にいる方からみると、メンバーがやたらに増えていて仲間かどうか、名前が一致出来ない。どういう経過で入ったかが分からない。ましてやコロナ禍で名前を憶えるなんてメタメタ。
- (2) 一体感の醸し出し。

仲間かどうか分からないから当然、一体感は難しい。

【解決策】

Zoom ではあまり期待出来ない。やはり、「少人数グループで 3 密を避ける会合を !!」そして、仲間を思うこと。連絡すること。そして、小さな“連絡会”“つながり”をつくって輪をつくろう。“ホラ”をいつも思いに持とう。

乱想にて

▼ 新入会員をご紹介します

会員増強事業主任 伊藤 幾夫 (東京多摩みなみ)

10 月には、下記の方が入会されました。(敬称略)

No.	入会者	(クラブ名)	紹介者
1.	内田 久昭	(千葉ウエスト)	高田 一彦
2.	鈴木 秀信	(千葉ウエスト)	高田 一彦
3.	守安 久美子	(千葉ウエスト)	高田 一彦
4.	吉崎 勇	(千葉ウエスト)	高田 一彦
5.	岡田 裕三	(千葉ウエスト)	長尾 昌男
6.	小林 和弘	(千葉ウエスト)	千葉 YMCA

▼ 第2回 拡大EMC事業委員会 報告

会員増強事業主任

伊藤 幾夫 (東京多摩みなみ)

日時: 2020年10月21日(水)

19:00~20:40

場所: Zoom 会議

出席: 合計 30名 (下線は委員長)

《EMC事業委員会=会員増強
事業主査》6名

伊藤幾夫(東京多摩みなみ)、北

東部:鈴木伊知郎(宇都宮東)、関東東部:浅見隆夫(東京グリーン)、東新部:村野繁(東京世田谷)、あずさ部:

野々垣健五(甲府21)、湘南・沖縄部:千葉裕子(鎌倉)

《エクステンション委員長》5名(1名は重複)

北東部:鈴木伊知郎(重複)、関東東部:金丸満雄(東京ひがし)、東新部:太田勝人(東京町田スマイリング)、あずさ部:菰渕光彦(東京サンライズ)、湘南・沖縄部:辻剛(横浜つづき)

《部長》5名

北海道部:中村義春(十勝)、北東部:南澤一右(仙台青葉城)、東新部:加藤義孝(東京)、あずさ部:御園生好子(東京サンライズ)、富士山部:伊藤一芳(富士宮)

《Change! 2022 推進委員会》12名(1名は重複)

伊丹一之(東京むかで)、板村哲也(東京武蔵野多摩)、伊藤幾夫(重複)、榎本博(伊東)、大川貴久(熱海)、大久保知宏(宇都宮)、栗本治郎(熱海)、中村孝誠(東京サンライズ)、深尾香子(東京多摩みなみ)、藤井寛敏(東京江東)、宮内友弥(東京武蔵野多摩)、渡辺大輔(東京武蔵野多摩)

《オブザーバー》4名

小山久恵(東日本区書記・東京サンライズ)、小林隆(東日本区事務所所長・沼津)、高田一彦(東日本区ワイズ基金委員会委員長・千葉ウエスト)、衣笠輝夫(東日本区ワイズ基金委員・埼玉)



【報告】

司会は伊藤幾夫(会員増強事業主任)が担当。板村哲也東日本区理事の開会の挨拶のあと、Zoom 会議出席者の紹介。出席予定者リストの順に、一人 10 秒以内で顔見せと簡単な挨拶。Zoom 会議では、出席者全員の「顔見せと挨拶」は大切だと思います。ワイズの親近感を感じるひと時です。

議事に入る前に、前回の議事報告を共有画面で確認しました。

議事の1つ目として、①各部の会長ヒアリング回答まとめを会員増強事業主査から報告してもらいました。この時点で、5部(関東東部、東新部、あずさ部、湘南・沖縄部、富士山部)からは、会長ヒアリング集計表が提出されていたので、共有画面で確認できました。10月末までに、すべての部から会長ヒアリング集計表がそろそろ予定です。

報告の中で各部から共通にあげられていたのは、コロナ禍の中でCS活動などがほとんどできていない中での会員増強の難しさです。現時点でヒアリング回答が提出されたクラブ 41クラブのうち、17クラブが当初の会員目標を下方修正してきました。その数 80名減です。一方、上方修正したクラブは 5クラブ(東京ひがし、東京ベイサイド、東京サンライズ、甲府 21、鎌倉)あり、その数は 26名増でした。差し引き 54名減となります。全クラブがそろいましたら、再報告します。

2つ目の議題として、②各部のエクステンションの進捗状況を、エクステンション委員長から報告していただきました。エクステンションについてもコロナの影響が大きく、新クラブ作りどころではないという声がある一方で、関東東部は千葉ウエストクラブのチャーターを終えたばかりにもかかわらず、牛久地域に新クラブの可能性、東新部は新宿(早稲田)地域に新クラブの動き、あずさ部は甲府クラブが新クラブ作りに着手、湘南・沖縄部は新クラブを模索中、との報告がありました。コロナ禍の厳しい状況にもかかわらず、エクステンション委員長をはじめ、みなさんの努力に敬意を表します。

3つ目の議題として、③各部でのエクステンション Zoom 会議の状況もお聞きしました。

4つ目の議題として、④アニバーサリー プレゼントプランのチラシおよび紹介用紙ができたので、利用してほしいとお伝えしました。

次回は12月2日(水)19:00~20:30 Zoom 会議(偶数月第1水曜日に変更)に決まりました。

▼「3日に一度の更新」でユーチューブ発信

石巻広域クラブの取組みをご紹介します

石巻広域ワイズメンズクラブでは、以前からイベントの動画を YouTube にアップしてきましたが、8月19日にシリーズ第1作目となる『2019-20 期会長 石川光晴さん I ワイズメンズクラブって、どんなところでしょう?』と題した動画を YouTube にアップ(下の写真)。

それ以来、3日に1回のペースで、「被災地の情報を石巻から」というコンセプトで、新たな動画をアップし続けています。



【進行役の清水弘一さん(左)とワイズを語る石川光晴さん】

石巻広域クラブでは、今年度の大林健太郎会長が次のように語っています。

「東日本大震災から10年目に入り、震災の風化が叫ばれるなか、被災地にあるクラブとして、今年度の活動方針を次のように決めました。

- (1) 復興支援活動や被災地の現状についての情報発信を国内外に向けて行おう。
- (2) 「Change! 2022」に向けて、ワイズメンズクラブと YMCA の認知向上と活性化のために、私たちの活動を地域の人々に伝えよう。
- (3) 大震災の後遺症や新型コロナの影響によって低迷する地元経済への支援と行動を、クラブメンバーから先ずスタートさせよう。

そのためのツールとして、YouTube にアップして情報発信することにしました。6月には神戸ポートクラブとのチャリティーコンサートをアップしましたが、その後、クラブメンバーの事業紹介やさまざまな活動状況を、順次対談方式で紹介してまいります。

動画撮影はすべてシロウトのメンバーが担い、修正はせずそのままアップしておりますので、見苦しいところも多々あると思いますが、ワイズに免じてお許しいただけますようお願い申し上げます。

これからは順次、被災地の復興状況は勿論、観光名所、物産品の紹介などもしてまいります。どうぞ下記をクリックしてご覧いただければ幸いです。」

https://www.youtube.com/channel/UCFgKcF_6vxbm6mKwXSdGIYw



【10/31現在の最新動画「クジラのしっぽ」のみなさん】

▼ 国際協会からのニュース

国際会長ニュース 第5号

(上記の表題をクリックしてください。ホームページにある日本語版ニュースを見ることができます。)

2020年11月発行の国際会長ニュースでは、下記のニュースが掲載されています。

- ・会員の皆さまへ(ジェイコブ・クリステンセン国際会長)
- ・IHQ(国際書記局)ニュース
- ・アレキサンダー奨学資金(ASF)11月の強調月間テーマ(田中博之 ASF 国際事業主任)
- ・世界 YMCA/YWCA 合同祈祷週
- ・田舎での一日(デンマーク・スキャン Å クラブ)
- ・Week4Waste の取組み(ロシアとデンマークの例)

100日会員増強キャンペーン

前年度に引き続いて、今年度も9月1日～12月9日の期間で『100日会員増強キャンペーン』が開催されています。クリックしてぜひ次の動画をご覧ください。



(上の画像をクリックしてください。)